

教 育 委 員 会 事 務 事 業
点 検 ・ 評 価 報 告 書

(令和 7 年度実績)

令和 8 年 9 月

小鹿野町教育委員会

目 次

1	教育委員会の点検・評価制度について	・ ・ ・ ・	1
2	令和7年度小鹿野町教育行政重点施策	・ ・ ・ ・	1
3	点検・評価の項目	・ ・ ・ ・	2
4	達成度と評価結果	・ ・ ・ ・	2
5	点検・評価表	・ ・ ・ ・	3

1 教育委員会の点検・評価制度について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を報告書として議会へ報告するとともに、公表することが義務付けられています。

小鹿野町教育委員会では、令和6年度から10年度までを期間とする「第3次小鹿野町教育振興基本計画」を策定し、それに基づき毎年「教育行政重点施策」を策定しています。

今回の報告書は、教育委員会の活動及び令和7年度小鹿野町教育行政重点施策に基づく取組結果を点検し、評価を行ったものです。

2 令和7年度小鹿野町教育行政重点施策

基本目標

〇かがやく未来へ おがの人づくり

目指す子供像

郷土小鹿野に誇りを抱き、
確かな「人間力」を身に付けた子供

※人間力とは、①確かな学力 ②社会性 ③夢に向かう活力 ④心身の健康

目指す町民像

一人一人が生涯にわたって主体的に学び続け、
必要な力を養い、互いに支え合う町民

重点施策と努力点

<学校教育分野>

(1) 確かな学力の育成

- ①小鹿野ベースによる授業改善と授業の充実
- ②おがの自学ノートによる主体的な学びの育成
- ③学校組織体制の工夫・改善

(2) 豊かな心の育成

- ①新たな伝統の創造
- ②ほっとハートキャンペーンの推進
- ③健康の保持・増進

(3) 夢に向かう活力の育成

- ①夢育成プロジェクトの推進
- ②ハートコンタクトプログラムの推進
- ③海外交流事業の計画的・継続的な推進

(4) 小鹿野ならではの教育の推進

- ①ファミリー5ヶ条(おがの家庭教育宣言)の促進
- ②小鹿野未来塾の充実
- ③小鹿野ふるさと学習の発展・深化

(5) 質の高い教育を行う環境の整備・充実

- ①未来へつなぐ望ましい教育環境整備の促進
- ②幼児教育から小学校教育への円滑な接続に向けた教育・保育環境の構築
- ③小鹿野高校との連携による地域教育の発展
- ④ICT機器の活用による教育環境整備の充実

<生涯学習分野>

(1) ライフステージに合わせた学習機会の提供

- ①生涯教育の推進
- ②家庭教育・成人教育の推進
- ③人権教育・啓発の推進

(2) 生涯学習推進体制の整備と促進

- ①学習機会の創出
- ②人材の確保
- ③生涯学習施設の維持管理と活用

(3) 生涯スポーツと健康づくりの推進

- ①社会体育施設の維持管理・有効活用
- ②団体・クラブの指導者の育成
- ③スポーツ活動の場と機会の充実

(4) 芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用

- ①文化財保護と活用の推進
- ②伝統文化の伝承後継者の育成
- ③文化芸術活動の充実

(5) 情報提供と学びを支える図書館サービスの推進

- ①生涯学習支援サービスの推進
- ②情報提供サービスの充実
- ③子供読書活動の推進

3 点検・評価の項目

N o	点検・評価項目	主担当課
1	教育委員会会議の実施状況	学校教育課
2	教育委員の活動状況	〃
3	学力向上に向けた授業改善	〃
4	主体的な学びの育成	〃
5	教職員の資質向上	〃
6	小鹿野未来塾による学習意欲の高揚支援	〃
7	ハートコンタクトプログラムの推進	〃
8	おがの家庭教育宣言の推進	〃
9	語学力・コミュニケーション能力の育成	〃
10	自他の命と心を大切にする教育の推進	〃
11	健康教育の推進	〃
12	ライフステージに合わせた学習機会の提供	生涯学習課
13	生涯学習推進体制の整備と促進	〃
14	生涯スポーツと健康づくりの推進	〃
15	芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用	〃
16	地域・家庭・学校の連携による家庭教育の推進	学校教育課・生涯学習課
17	図書利用者サービスの充実	生涯学習課
18	図書資料の充実	〃
19	子供読書活動の推進	〃

4 達成度と評価結果

達成度	評価
100%	A 【目標どおりまたは以上】
80%以上100%未満	B 【概ね目標どおり】
60%以上80%未満	C 【目標をやや下回る】
40%以上60%未満	D 【目標を大きく下回る】
40%未満	E 【未実施または再検討】

※達成度：会議の開催回数など、実績値などから目標達成率（ ）内数値を算出し、平均値（下線付き数値）を記載

※評価：上記表の5段階評価を記載

1 教育委員会会議の実施状況			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		<u>100</u>	A	●教育委員会定例会を月に1回開催し、教育委員会事業の報告や教育委員会の承認を要する案件全てについて審議を行った。令和7年度中に94件（議案・報告・協議・承認・諮問）の審議を行った。 また、臨時会については案件が無かったため開催しなかった。今後も引き続き適切な審議と会議の運営に努めていく。
①定例会 <u>月1回</u> <u>年間12回開催</u>	定例会 <u>12回</u>	(100)		
②臨時会 <u>随時</u>	臨時会 <u>一回</u> ※開催案件無し	(－)		
2 教育委員の活動状況			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		<u>87</u>	B	●総合教育会議を開催し、第1回会議では小鹿野町学力向上プロジェクト、小鹿野ベース、おがの自学ノート活用の状況、小鹿野町地域クラブ活動推進協議会の今後の事業計画等について、第2回会議では次年度の教育委員会の主要な事業等について、町長と教育委員とで情報共有しながら意見交換をすることができた。今後もより緊密に連携しながら、効果的に教育施策を推進していく。 ●小中学校訪問及びおがのこども園見学については12月の実施となったが、予定通り実施することができた。 また、運動会、体育祭、入学式、卒業式については、盛大に開催され、児童生徒の様子や成長を確認することができた。特に小学校については統合後初めての行事実施となったが、滞りなく実施され、混乱なく日々児童が過ごしている様子を確認することができた。 ●令和7年度は年間を通して予定されていた行事や会議は、一部遠方の会場や日程が合わずやむを得ず参加できなかったものもあったが、その他のほとんどの行事や会議については出席できた。 教育委員会連合会の役員会、総会は、国・県の連合会については欠席となったものの、秩父地区については出席し議案等に対し適切な審議を行えた。 また教育委員を対象とした研修会については、秩父地区教育委員会連合会の研修会が秩父市で開催され、近隣市町村の教育委員会の動向を確認するとともに、委員同士で交流を図りながら知見を深めることができた。
①総合教育会議出席 <u>2回</u>	総合教育会議 (第1回) ・小鹿野町立小中学校における学力向上の取組について ・地域クラブ活動への展開について (第2回) ・令和8年度教育委員会の主要な事業等について <u>2回</u>	(100) <u>2回</u>		
②学校訪問及び学校行事出席 <u>1回</u> <u>2回</u> <u>4回</u>	・小中学校訪問及びおがのこども園見学 <u>1回</u> ・運動会及び体育祭 <u>2回</u> ・入学式及び卒業式 <u>4回</u>	(100) <u>1回</u> <u>2回</u> <u>4回</u>		
③町行事及び町外会議出席 <u>1回</u> <u>1回</u> <u>5回</u> <u>3回</u>	・教職員辞令伝達式 <u>1回</u> ・二十歳の集い <u>1回</u> ・教育委員会連合会会議 <u>3回</u> ・協議会、研修会 <u>1回</u>	(60) <u>1回</u> <u>1回</u> <u>3回</u> <u>1回</u>		

3 学力向上に向けた授業改善			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>81</u>	B	●全国学力・学習状況調査では、「分からないことや詳しく知りたいことに、自分で学び方を考え、工夫することができている」の質問項目に対して、8割以上の児童生徒が「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答している。小鹿野ベースによる授業改善を引き続き進めていく。 ●埼玉県学力・学習状況調査では学力の伸びが認められた教科は昨年度を上回る11科目であった。県と同程度の伸びを示したものは7科目であった。学力向上プロジェクトをもとに、基礎・基本の定着を課題として学力向上に取り組んでいく。 ●令和7年度も小鹿野ベースをもとに、授業改善への具体的な取組みを示して、授業改善研修会を計画通り実施することができた。今後も学力の伸びへ繋がる研修会となるよう研究していく。
①全国学力・学習状況調査の質問項目「授業の内容がよく分かる」の達成状況 <u>100%達成 (5教科平均)</u>	質問項目「授業の内容がよく分かる」に対して「あてはまる」「どちらかと言えば、あてはまる」と答えた児童生徒の割合 (5教科平均) <u>5教科平均 78.0%</u>	(78)		
②県学力・学習状況調査で県と同等以上の学力の伸びを達成する。 <u>伸びが認められた教科数【県】11教科</u>	県と同等以上の伸びが認められた教科数 <u>【町】7教科</u>	(64)		
③授業改善研修会の実施 <u>全6回</u>	授業改善研修会の実施 <u>全6回</u>	(100)		
4 主体的な学びの育成			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>117</u>	A	●おがの自学ノートを活用し、子供達の主体的な学びの育成を図ることができた。平均使用冊数も昨年度比+0.2冊となった。今後も内容について共有化し、質の向上を目指していく。 ●中学校のテスト前の期間に合わせた家庭学習の集中取組期間において、「おがの家庭教育宣言」などを利用し意識の高揚を図ることができた。
①おがの自学ノートの使用冊数 <u>一人5冊</u>	おがの自学ノートの平均使用冊数 <u>一人4.2冊</u>	(84)		
②おがの自学ノート普及のための取組 <u>全2回</u>	家庭学習啓発活動の実施 <u>全3回</u>	(150)		
5 教職員の資質向上			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>100</u>	A	●採用後6年以内の教員を対象とした研修会を予定回数実施することができ、若手教員の資質の向上に努めた。 ●令和7年度は、小鹿野町役場議場にて町内の全教職員を対象に参集型研修会を実施した。埼玉部落史研究会に講師を依頼し、同和教育について講演会を実施した。ICT活用研修会では、北部教育事務所に講師を依頼し、県・国の学力学習状況調査の分析・活用・実践について研修を実施した。
①若手教員研修会の開催 <u>7回</u>	若手教員研修会の開催 <u>7回</u>	(100)		
②教職員対象の夏季研修会の開催 <u>2回</u>	・人権教育研修会 ・ICT活用研修会 <u>2回</u>	(100)		
6 小鹿野未来塾による学習意欲の高揚支援			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>108</u>	A	●実施計画に従って、ほぼ予定通りに開催することができたが、小学生科学不思議講座が1回実施できなかった。講座終了後に実施した受講生対象のアンケートでは、「分かりやすかった、参加してよかった」等の満足度の高い結果が得られた。小学生科学不思議講座の会場は、小鹿野高校との連携を継続していく。
①小鹿野未来塾開催 ・英検チャレンジ:5回 ・漢検チャレンジ:5回 ・中学生未来塾:12回 ・小学生科学不思議講座:4回 <u>全26回</u>	小鹿野未来塾開催 ・英検チャレンジ:5回 ・漢検チャレンジ:5回 ・中学生未来塾:12回 ・小学生科学不思議講座:3回 <u>全25回</u>	(96)		

②検定料助成 英検：102人 漢検：108人 計：210人	英検・漢検検定料助成 英検：85人 漢検：182人 計：267人	(127)	●英検の受験者数は前年度より23%増、漢検の受験者数は前年度比40%増であった。合格率は英検57%、漢検50%である。 今後受講の募集案内や受験案内の周知方法等を工夫し、保護者、教職員を含めて検定挑戦、親子共学の気運を高めていく。 ●昨年度に引き続き、地域の方や小鹿野高校から協力いただき、地域人材を十分に活用することができた。 今後も講師の確保に努めるとともに、講師との連携を深め、講座内容の更なる充実を図っていく。	
③未来塾講師配置 32名	未来塾講師配置 32名	(100)		
7 ハートコンタクトプログラムの推進			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度（%）	評価	成果と課題
		96	B	●小・中学校9年間の活動記録を蓄積した「志ファイル」を生徒全員に配付している。卒業生が自らの成長を確認し、新たな目標に向かう意欲を高めるよう継続して取り組んでいる。令和7年度中学2年生での配付から卒業年である令和8年度中学3年になってからの配付に予定変更となった。 ●取組開始から7年目を迎え、本年度改訂を行った。「暗唱活動評価」を行い、校内だけではなく保護者や地域を巻き込んだ暗唱活動が展開できた。小学校の段階で名言や名文・詩・町の民話等に親しむことで、豊かな心を育てていく。今後も更なる充実に向けて創意工夫した取組を進めていく。 ●中学3年生が町議会の疑似体験を通じて、町民生活と行政との関わりや町に直面する様々な課題について考える機会を作ることができた。また、小鹿野町民としての自覚と郷土を愛する心を育成することができた。
①「志ファイル」を活用した夢や志の育成 中学校卒業までに全員に配付	9年間の成長をまとめるファイルを中学校卒業までに配付 令和7年度中学2年生に配付予定から、令和8年度中学3年生になってから配付に変更	(一)		
②「おがのことだま百選」による保護者・地域との共学の推進 小学校全児童に配布 全273名	小学校全児童に配布 全273名	(100)		
③小鹿野町子ども議会開催 中学3年生 86名	小鹿野町子ども議会開催 中学3年生 78名	(91)		
8 おがの家庭教育宣言の推進			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度（%）	評価	成果と課題
		81	B	●各学校で具体的な約束を掲げ、ファミリー5カ条について取組み、家庭学習の習慣化の定着を推進した。家庭学習の習慣化の割合は昨年度より11%程低下したが、今後も習慣化の延伸を目指し、周知・啓発を推進していく。今後も親子ともに意識を高め学力向上に繋げていく。
①家庭教育宣言の推進 2校でのPR	家庭教育宣言の推進 PTA支部だよりを2校に配付	(100)		
②家庭における学習時間を習慣化する 全児童・生徒の90%	家庭学習の習慣化を図る 全児童・生徒の54.9%	(61)		

9 語学力・コミュニケーション能力の育成			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>16</u>	E	●卒業時の英検3級取得者割合は目標には届いていない。中学校との連携を推進して、1・2年生の英検の受験者・取得者増加を目指すとともに、3年生で3級以上の取得者増加に繋げていく。 ●各学校と先方の都合により、姉妹校提携は次年度への持ち越しとなった。令和8年度内の中高交換留学プログラムの実施に向け、引き続き調整を進めていく。
①英語検定取得者の増加 <u>中学校卒業時の英検3級取得者40%</u>	英語検定3級取得者の割合 <u>中学校卒業時の英検3級取得者12.8%</u>	(32)		
②海外交流事業の推進 <u>交流事業実施 年2回</u>	・ALT家族と小学6年生のオンライン交流 ・海外大学生と中学2年生の手紙交換 <u>交流事業実施 年0回</u>	(0)		
10 自他の命と心を大切にする教育の推進			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>100</u>	A	●昨年度に引き続き、夏季休業期間中に町内教職員全員を対象にした人権研修会を開催した。身の回りの人権課題について講義を開催し、教職員の人権意識の高揚・啓発を図ることができた。 ●昨年度に引き続き、ほっとハートキャンペーンの推進により、各学校において特色ある人権教育や道徳教育、また特別活動を実施することができた。埼玉県学力・学習状況調査では全ての学年で目標値を達成すると共に、県平均を上回る事ができた。
①人権教育研修会の開催 <u>教職員対象 1回</u>	・人権教育研修会の開催 <u>教職員対象 1回</u>	(100)		
②埼玉県学力・学習状況調査 「相手の気持ちやその場の状況を考え、やさしい言葉遣いができる」の達成率向上 <u>85%以上達成の学年数 6学年</u>	埼玉県学力・学習状況調査 85%以上を超えた学年数 <u>達成学年数：6学年</u>	(100)		
11 健康教育の推進			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>90</u>	B	●食育授業を計画的に実施し、児童・生徒に食の重要性について指導を行うことができた。今後も、更に内容の充実を図るとともに、時間の確保を継続していく。 ●年間を通して給食センターだよりを発刊するとともに、食育について掲載をすることができた。今後も掲載内容を工夫しながら食育の意識の高揚を図っていく。
①学校において食育授業実施 ・栄養教諭による食育授業を実施 <u>年50時間</u> ・食に関する指導 <u>年2回</u>	・栄養教諭による食育授業を実施 <u>年60時間</u> ・食に関する指導 <u>年1回</u>	(120) (50)		
②食育の啓発 ・給食センターだより発刊 <u>11回</u>	・給食センターだより発刊 <u>11回</u>	(100)		

12 ライフステージに合わせた学習機会の提供			《生涯学習課（公民館）》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		<u>77</u>	C	●定員40名で募集を行い、35名の申込みがあった。文化関係の内容を中心に開催したが、今後、町の自然や地域振興に関する内容も入れ、幅広い方に興味を持っていただけの講座にしていける。 ●教養講座（中央公民館）は全講座を予定通り開催することができた。申込みの少ない講座もあったため、新しい内容の講座を開催するなどして、町民のニーズに応えていく。 ●教養講座（両神公民館）は、感染症の流行により中止となった2講座を除き、予定通り開催することができた。特に郷土料理や子ども向けの講座などの人気が高く参加者も増加したため、昨年同様の結果となった。 ●人気講座の天体観測会と皆既月食観測会を予定していたが、天候不良のため、中止とした。引き続き参加者のニーズ等を踏まえ、様々な学習機会の提供を行う。 ●各地区老人クラブの協力により集会所で交通安全教室9回、いきがい学級9回を開催することができた。老人クラブの休会をする地区や会員数も減少傾向だが、毎回多くの参加があった。 ●令和7年7月と令和8年3月に婚活イベントを企画し2回イベントを開催することができた。しかしいまだ、女性の参加は定員に満たないため、イベント内容の魅力を広く知らせる必要が課題である。イベント参加にてカップルになった方が成婚され小鹿野町に住んでいただける成果も出ている。
①小鹿野ときめき生活推進大学開催	小鹿野ときめき生活推進大学開催	(77)		
全8回・ <u>延べ320人</u>	全8回・ <u>延べ247人</u>			
②教養講座開催 ・中央公民館	教養講座開催 ・中央公民館	(91) (83)		
14講座／全37回 <u>延べ384人</u>	14講座／全37回 <u>延べ320人</u>			
・両神公民館	・両神公民館	(100)		
16講座／全23回 <u>延べ235人</u>	14講座／全21回 <u>延べ235人</u>			
・生涯学習講座開催	・生涯学習講座開催	(90)		
5講座／全5回 <u>延べ50人</u>	5講座／全5回 <u>延べ45人</u>			
③訪問講座開催	交通安全教室・いきがい学級開催	(107)		
<u>延べ250人</u>	<u>延べ267人</u>			
④婚活イベント及び講習会の開催	婚活イベント 講習会の開催	(31)		
<u>延べ70人</u>	<u>延べ22人</u>			
13 生涯学習推進体制の整備と促進			《生涯学習課（公民館）》	
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		<u>86</u>	B	●公演部門14団体、展示部門10団体で開催した。公演部門では、文化センターエントランスで飲食等の販売を行い、1日を通して公演を楽しんでいただく工夫を行った。展示部門では、来場者数が少なく広く周知する他、会場を公演部門と同様に文化センターで行うなど改善が必要である。 ●両神ふるさと総合会館内で、団体の作品や個人作品、調べる学習コンクール、読書感想画コンクールの展示を行った。延べ来場者数は昨年より14パーセント減少した。今後も文化展の周知方法を検討し、来場者数の増加を計っていく。 ●来館者数は、目標に届かなかったが、イベント・講座を開催し、多くの方に利用いただいた。
①小鹿野文化祭の開催	公演・単独・展示部門の開催	(100)		
参加：5日間／ <u>24団体</u>	参加：5日間／ <u>24団体</u>			
②ふる総文化展の開催	ふる総文化展の開催	(79)		
来場者： <u>230名</u>	来場者： <u>182名</u>			
③おがの化石館の来館者数	おがの化石館の来館者数	(80)		
来館者： <u>8,000名</u>	来館者： <u>6,404名</u>			

14 生涯スポーツと健康づくりの推進			《生涯学習課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>88</u>	B	●令和7年度は新規の町民バスケットボール大会を実施し、多くの参加があり盛大に実施することができた。小鹿野ロードレース大会は、ハーブの部を行わず10kmの部・5kmの部・3kmの部・1kmの部で行った。地元小・中学生が多く参加したことで賑やかに実施することができた。今後は日程調整や若者を中心に新規の参加者を増やしていく必要がある。また、物価高による影響で予算の確保が課題である。 ●建設から30年近くが経過していた野球場の改修を行った。故障していたスコアボードも修繕することができ、使用可能となった。
①町民大会開催 10種目10大会 総参加者：1,000人	町民大会開催 11種目11大会 総参加者：872人	(87)		
②小鹿野ロードレース大会開催 総参加者：800人	小鹿野ロードレース大会開催 総参加者：608人	(76)		
③体育施設の整備 総合運動公園野球場改修工事	体育施設の整備 総合運動公園野球場改修工事R8.2月完了	(100)		
15 芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用			《生涯学習課（公民館）》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>104</u>	A	●来場者数が昨年度と比べ大幅に減少した。しかし、写真団体の出店の増加により、出展が増え、新鮮な展示内容となった。課題について、高齢化や小中学生の生徒減少に伴い、出展数も減少しているため、しないよう工夫と情報を広く周知するように改善する。 ●歌舞伎郷土芸能祭を開催し、盛大に実施することができた。また、出演団体の中には、継承者減少のため休止したが本事業を契機に出演するなど郷土芸能の披露の場としての成果があった。 ●歌舞伎資料を常設で見学できる施設に整備したことにより、町外や学校利用等の来場者が増え、小鹿野町の地域文化を多くの方にご覧いただいた。 ●令和5年度から小鹿野町こども郷土芸能士の認定制度を創設し、各団体から多くの子供の推薦があり郷土芸能の継承、普及及び郷土愛の醸成を図ることができた。
①小鹿野美術展開催 総出展数／450点	小鹿野美術展開催 総出展数／378点	(84)		
②歌舞伎・郷土芸能祭開催 参加者／1,200人	歌舞伎・郷土芸能祭開催 参加者数／延べ1,212人	(101)		
③文化財活用事業の展開 来場者／1,000人	・小鹿野歌舞伎さろん 来場者／1,087人	(109)		
④小鹿野町こども郷土芸能士の認定 認定者／15人	小鹿野町こども郷土芸能士の認定 認定者／18人	(120)		
16 地域・家庭・学校の連携による家庭教育の推進			《学校教育課・生涯学習課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>108</u>	A	●児童・生徒やその保護者の人権意識の高揚・啓発のため研修会を開催した。今後も保護者への働きかけを積極的に行っていく。 ●家庭教育の教育力向上のため、5講座を開催した。参加者からは好評を得ており、講座の満足度は毎回100%と高かった。参加者からの要望を踏まえ、関心の高い分野の講師発掘や新たな講座の検討に努めていく。
①人権を考える集い (小鹿野小学校で開催) 児童(3・4・5・6年生)・教師 200人	人権研修会の開催 (小鹿野小学校で開催) 児童(3・4・5・6年生)・教師 213人	(107)		
②家庭教育支援事業 5講座 参加者／200人	家庭教育支援事業の開催 5講座 参加者／269人	(135)		

③学校応援団への地域協力者数の増加 実人数／100人	学校応援団への地域協力者数の増加 実人数／81人	(81)		●学習支援・安全見守り・環境整備など多方面に渡り多くの方に協力を得られた。引き続き地域の方々に協力を頂けるように働きかけを継続していく。
17 図書利用者サービスの充実 《生涯学習課（図書館）》				
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		83	B	●小学校統合による学校への貸出数の減少、9月の臨時休館の影響及び乳幼児の親子の利用者層が減少したことが、全体の貸出者数、資料貸出数に影響している。今後は、利用者層の把握に努め、利用促進を図っていく。
①資料貸出者数の増加 年間6,500人	資料貸出者数 年間5,455人	(84)		
②資料貸出点数の増加 年間貸出数／30,000点	資料貸出点数 年間貸出数／26,519点	(88)		
③図書貸出冊数の増加 年間貸出冊数 1人3.0冊	図書貸出冊数 年間貸出冊数 1人2.3冊	(77)		
18 図書資料の充実 《生涯学習課（図書館）》				
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		95	B	●資料価格の値上がりにより、年間の新規購入数は減少しているが、利用者の希望に添えるよう工夫していく。
①蔵書資料数 資料点数／86,000点	蔵書資料数 資料点数／85,447点	(99)		
②新規受入資料数 資料点数／3,000点	新規受入資料数 資料点数／2,772点	(92)		
③資料の予約・リクエスト件数 件数／2,000件	資料の予約・リクエスト件数 件数／1,872件	(94)		
19 子供読書活動の推進 《生涯学習課（図書館）》				
目 標	実績等	達成度（％）	評価	成果と課題
		93	B	●健診会場で実施していることから出席者への事業実施は全員にできている。今後は、健診欠席者への対応を関係機関と連携して検討する。 ●対象乳幼児数が減少しているため、参加者も減少傾向である。内容を工夫し、多くの親子に参加してもらえるようにする。 ●コンクールへの応募は、児童生徒数の減少により全体的に減ってきているが、毎年応募してくれている子供たちもあり、内容は充実してきている。今後は、応募数を増やすような周知方法の工夫や作品作りの支援を検討していく。
①ブックスタート・ブックチャレンジ事業の実施 参加率／対象児95％	ブックスタート・ブックチャレンジ事業 参加率／対象児99％	(104)		
②おはなし会の開催 参加人数120名	おはなし会 参加人数113名	(94)		
③調べる学習地域コンクールの開催 応募点数70点	調べる学習地域コンクール 応募点数60点 (参加者 個人 59人 グループ 2人)	(86)		
④読書感想画コンクールの開催 応募点数30点	読書感想画コンクール 応募点数26点	(87)		

